

声 明 書

我が国にとってエネルギーは国民生活や経済活動を支える基盤であり、低廉なエネルギーの安定的な供給なくして、快適な生活や経済の持続的発展を維持することはできません。

当会は、三重県民のみなさまがエネルギーや環境問題について、エネルギー資源のほとんどを海外に依存し、自然エネルギーを活用する条件も諸外国と異なるなど我が国が抱えるエネルギー供給の脆弱性の現状を踏まえて、冷静な視点で、かつ、自らの問題として捉え、考え、行動していただくことを訴え続けております。

そのうえで、我が国の持続的発展や私たちの安心・快適・豊かな生活の維持に向け、「環境との調和を図ったエネルギーの確保」などにより脱炭素社会を実現することの重要性を講演会や見学会などの啓発活動を通じて訴えるとともに、県民のみなさまとのコミュニケーションを大切にし、自由に議論できるサロンやフォーラム等を実施するなど、エネルギーや環境問題について理解を深めていただけるよう事業活動を展開しております。

ロシアによるウクライナ侵攻は、国際エネルギー市場を混乱させ国内外のエネルギー事情を一変させるとともに、昨年10月に中東地域で新たに発生した武力衝突は、我が国のエネルギー安全保障を考える上で大変憂慮する事態となっております。

また、日本の昨年夏の平均気温は、気象庁が統計を取り始めた125年の間で、最も高くなり、異常気象による生態系などへの影響と大規模な自然災害等に対する対策が喫緊の課題となっております。

世界を取り巻くエネルギー問題は、グローバルサウスと呼ばれる新興国の経済発展などに伴い、今後、更に限りのあるエネルギー資源をめぐる獲得競争により一層厳しさを増すものと考えられます。このためエネルギーの安定確保と脱炭素社会の実現に向けては、国のエネルギー政策の基本方針である、安全性を大前提に「安定的に」「経済的に」「環境に優しく」のS+3Eの視点を踏まえ、原子力発電については、安全を確保したうえで早期再稼働を進めるとともに、多様なエネルギーをその特性を活かして組み合わせる「最適なエネルギーミックス」を実現することが重要であると考えます。

そこで、当会は、会員の皆さまとエネルギーや環境問題について理解を深める活動を実施するとともに、GXの実現に向けた基本計画でも示された、既存の原子力発電の活用、革新炉の開発・建設や再生可能エネルギーの導入拡大、高レベル放射性廃棄物の最終処分などの課題について、講演会や見学会およびメディアなどを通して、情報発信していく活動を一層推進してまいります。

これらを踏まえた脱炭素社会の早期実現に向け、経済産業省中部経済産業局、三重県、三重県議会ならびに県内市町と市町議会、経済界を始めとする関係諸団体との連携を図るとともに次の事項について、要望いたします。

要 望 事 項

三重県、三重県議会

- 1 エネルギーや環境問題への理解に資する情報発信と諸施策の推進
- 2 省エネルギー推進や節電の促進に向けた県民的活動の展開と環境整備
- 3 次世代層に対するエネルギーや環境教育の積極的な推進
- 4 脱炭素社会の実現や地球温暖化問題の解決に向けた諸施策の積極的な推進

経済産業省 中部経済産業局

- 1 我が国の持続的発展につながるエネルギー施策への理解活動の推進
- 2 安全性、安定供給、経済性、環境適合性を確保したエネルギーミックスの実現に向けた諸施策の確実な実施
- 3 脱炭素社会の実現や地球温暖化問題の解決に向けた諸施策の積極的な推進

以上、声明いたします。

令和6年6月5日

21世紀のエネルギーを考える会・みえ